

ふるっふ通信

社会福祉法人

なづな学園

サービスセンター

ふるっふ

「ご安全に！」

サービスセンター ふうらつぷ

センター長 北野 幸雄

あつという間に花が散り、新緑が目
に生え風薫るさわやかな季節がまいり
ました。新年度になって、真新しいス
ーツに包まれた新人が初々しいしぐさ
で街中を闊歩しています。私たちのふ
らつぷ・わかなにも2人の新人を迎え
ました。

私事ですが、最初の仕事は製鉄業の
システム担当でした。配属先は茨城県
の鹿島製鉄所。(いまは鹿島アントラー
ズで少しは有名になりましたが)当時
は何もなくて水郷潮来と霞ヶ浦くらい
しか知らなかったので配属時は少し心
配だったのを覚えています。

現場では世界から集めた鉄鉱石と

石灰、コークスを5、6階建て建物ほ
どの高さがある高炉に入れて溶かして
さらに転炉で酸素を吹き込み吹錬して
成分調整してスラブと呼ばれる巨大な
こんにやく板状に固めて、板やパイプ
に圧延・成型加工します。(人間の技術
も大事ですが)適切なシステム制御が
ないと良い製品が納期通り、安くでき
ないので、大切な役割に日夜頑張つて
いたのを昨日のように思い出します。

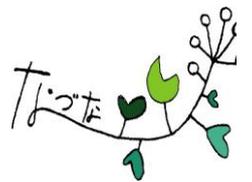
工場では作業長と呼ばれる責任者が
現場を取り仕切っているのですが、職
場に行く、挨拶がおはようございま
すとかこんにちはではなくて「ご安全
に！」というのです。職場ミーティン
グでも最初と最後は必ず「ご安全に！」、
上司とあつても「ご安全に！」と言
って敬礼します。それどころか、電話
をかけても「ご安全に！」、受けても「ご
安全に！」外部の訪問者は最初びつく
りされますが、なかなか味のあるいい
言葉だと思えます。

この言葉の由来は戦後まもなく住友
金属の製鋼所の副長がドイツの鉱山で
使われていた『Gluckauf (x) 無事だ』
という坑夫のあいさつ言葉を知り、帰
国後、従業員への安全啓発策として『ご
安全に！』を提唱し、全国の製鉄業に
広まったとのこと。

安全がすべてに優先する職場ならで
はのことばではありませんが、翻って見
れば、介護業界でも安全が最優先なこ
とは論を待つまでもありません。我々
の支援活動でもヒヤリハット体験の記
録をしています。それが日常茶飯事
であることに今更ながら驚く毎日です。
まわりにある危険因子を減らすために
は常日頃の支援者のセンサーの感度を
上げていくしかなくて、それを触発す
る意味でも、私は「ご安全に！」と叫
び続けていきたいと思っています。



以上



この春に異動した

職員の挨拶

心地よい春の優しい風によって！



南 裕志

ふらっぷ通信に皆さんへの着任の挨拶をしたのは、1年前の事。前回のふらっぷ通信には、この1年を振り返って・まだまだこれから頑張りますと言った内容の原稿を書いたにもかかわらず、

その後、人事異動ということから東山のなづな学園で働くこととなりました。なづな畑から飛んできた南の種、ふらっぷ畑に舞い落ちて根が付き、これから花を咲かせようとしていた矢先の異動で私自身、驚きと、皆さんに申し訳ない思いでいっぱいです。すみません。

施設内の支援期間が長く、ふらっぷに異動になった当初は、個別支援の難しさに夜も眠れない日がしばらく続き、自分自身にムチ打って重い鞆を持って西へ東へ走り回っていました。半年がたったところから私自身がふらっぷ色になり、しんどさより支援のやりがいの比重が大きくなって行ったように思います。たしかに“あくしんどいな”と言った支援も多々ありましたが、支援の終わりに“ありがとう！”“今日は楽しかった！”“また来てね！”の声に心から嬉しくなったものです。

施設内での利用者それぞれの顔。施設外での利用者それぞれの顔。両面から向き合うことが出来た事に感謝です。今後は、この1年の経験をいかし、地域における利用者皆さんの暮らしを継続して考え、取り組んで行きたいと思えます。私たちが地域の中で、好きなように暮らして、それが当たり前と感じているように、障害を持った皆さんの暮らしも地域が当たり前となるように。

ふらっぷは、昨年夏に今後増えてくるであろう65歳問題に取り組み、年末に介護保険対応の事業所としての機能を持つことが出来ました。若い方から、介護対象の方まで今後も幅広い支援をふらっぷは展開していきます。100%対応できるとは言えませんが、とにかく相談して下さい。何らかの糸口は見つかると思います。よろしくお願いいたします。

最後に、皆さんに何のお知らせや感謝の挨拶をせずに異動したことにお詫び申し上げます。

利用者の地域における暮らしの充実を願いつつ、東山へ南の種は飛んで行くこととします。

それではまたいつか逢いましょう！



井上 弥生

今年4月からふらっふ兼わかなの職員として入社しました。

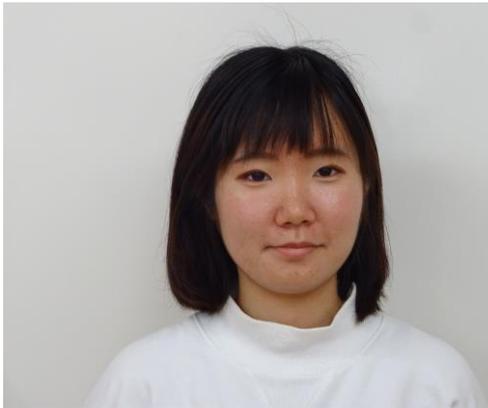
井上 弥生です。

「弥生」と書きますが「みく」と呼びます。なので3月生まれですか？とよく聞かれるのですが、全然そういうこともなく4月生まれです。

そんな4月もあつという間に過ぎ一か月を過ぎようとしています。みなさんの期待に応えられるよう一日一日頑張つてまいります。

よろしくお願ひします。

新しい職員さんが
ふらっふに仲間入りしました★
ご紹介します



奥出 万由

皆様、初めまして！

奥出万由と申します。

4月より、短大の社会福祉学科を卒業し、ふらっふで働かせていただけることになりました。学生時代は「プラネット」という団体に活動していました。それは、自閉症のある方とその親御さん、そして学生ボランティア皆でお出かけに行くというボランティアです。そこでは、親御さんの思いを知ったり、障害のある方と一緒に楽しんで活動したりしていました。その中で障害のある方とそのご家族の生活をサポートする仕事に就きたいと考えるようになりました。

新社会人で皆さんにこれから教えて頂くことばかりです。一日も早く仕事に慣れて、一生懸命頑張りますので、何卒よろしくお願ひ致します。



知的障害者移動支援従業者養成研修

今年度も
開催予定

・日時 平成30年 夏(6月~7月予定)1回 冬に1回 を予定

・会場 かしの木学園4階 予定 (中京区西ノ京桑原町8)

・主催 社会福祉法人 なつな学園 (理事長 高宮 郁子)

担当事業所 サービスセンターふらっぷ 右京区花園内畑町37

TEL 075-822-5245 HP: <http://www.naduna.jp/flap/> Mail: flap@naduna.jp

・受講料

◆移動支援従事養成研修(指定研修) 5,400円(テキスト代含む)

・受講結果

「指定研修」の全日程を出席された方は、京都市指定の移動支援事業所に登録され、ガイドヘルプサービス(障害のある方々の社会参加や余暇活動等の外出の際の移動を支援する)を行うことができます。



気が付けば桜もつつじも満開時期を過ぎ
て新緑の季節。
夏日も増えてきていますが、その前に梅雨
が来て豪雨なんか悩まされる日が遠から
ずきそうですね。
最近の台風や豪雨は一番前よりも威力が
増している気もしています。巻頭にもありま
したが「安全に!」。外出含めた支援を今年
度もみなさんと一緒に出来ることを楽しみ
にしています。とこいつこいつ笑今年度もよ
ろしく願っています! (G)

編集後記

この資格を取ってもらえると
ふらっぷの一員として
「移動支援」での活動が
出来るようになります。
みなさんの周りでは
興味ある方がいれば
是非お勧めしてください!

※日程等、詳しいことはふらっぷ担
当:渡邊までお問い合わせください